

専門分野  
油彩画 版画 美術科教育(特別支援教育)



Igarashi Hideyuki

教授 五十嵐 英之

デザイン芸術学科

[担当科目]

領域横断特別研究、絵画制作表現研究、博士制作研究、西洋画制作研究Ⅰ、西洋画制作研究Ⅱ、修了制作研究、現代表現制作研究Ⅰ、現代表現制作研究Ⅱ、現代表現制作研究Ⅲ、現代表現制作研究Ⅳ、通信修了制作研究、美術科教育法Ⅰ、美術科教育法Ⅱ、美術工芸演習Ⅰ、美術工芸演習Ⅴ、美術工芸実習Ⅰ、美術工芸実習Ⅱ、絵画基礎Ⅱ、卒業研究

プロフィール

1964年 京都市生まれ  
京都市立芸術大学 博士課程満期取得退学

主な活動

油彩画技法・表現の研究  
版画技法・表現の研究  
療育、特別支援教育の現場で有効な相互描画法の研究

今年度の研究内容

- ①油彩画技法・表現の研究:古典技法(カマイユ技法、メディウムの研究)
- ②版画技法・表現の研究(銅版画、アクアチントの特殊技法)
- ③療育、特別支援教育の現場で有効な相互描画法の研究(福祉施設「わきあいあい」での実践)
- ④きょうと障害者文化芸術推進機構企画「人が生きる中でアートがいかにあるのか・五十嵐英之の実践」展覧会と講演会2019年6月18日～8月4日 art space co-jin
- ⑤文化庁企画「タイバンコク×ジャパンproject」2019年7月19日～11月3日 Bangkok Art & Culture Center
- ⑥川村記念美術館「画家の彫刻」展出品 2019年9月14日～12月8日 川村記念美術館

主な著書・論文

「描画と脳」描画活動時の脳の働きから導出される 描画活動のプロセスモデルの構築  
「Live with Drawing」～描く事の意味・再考～ 自閉症者との相互描画法について  
「Live with Drawing」～描き合うこと 描き続けること～ 藁工ミュージアムで開催された展覧会の記録。  
「Live with Drawing」～視点 精神分析～ 五十嵐英之と自閉症者との相互描画法について、精神分析家 白石潔氏による研究の視点について論述されている。執筆及び監修  
「Live with Drawing」～「五感・授受」発達障害・自閉症者の発達の契機となる描画法や支援用具などについて解説。

主な学会等での発表

「色彩に関する領域横断シンポジウム」きらめく色彩とその技法、工房の実践プラクティスを問う、東西調査報告からみる色彩研究の最前線についての報告

研究活動

- ・油彩画の研究 中西夏之×五十嵐英之 作品超拡大化計画 中西夏之氏と五十嵐英之による受映膜の研究
- ・中西夏之作品の拡大と拡散に関する研究
- ・自閉症生徒～成人との絵画を仲立ちとしたコミュニケーションの研究
- ・新技法「学齢期の版画教材」発明の名称「版画用樹脂版及び版画用版の制作方法の発明」特許取得 特願 2004-87427
- ・「描画と脳」視線カメラを用いた研究 中島道夫・五十嵐英之による共同研究。描画活動時の脳の働きから導出される描画活動のプロセスモデルの構築

学外活動

2017年 Karavana workshop 参加 デンマークオーフスにあるアートワークによる障がい者支援施設をアトリエとして、3週間の公開制作活動が実施された。そのワークショップに招聘され油彩画作品を制作  
2015年 高知県内の自閉症児童との五感・授受粘土によるワークショップ 高知県 NPO法人Uプロジェクトを利用する児童5名との五感・授受粘土、交叉対面型ホールプレートを用いたワークショップ  
2015年 自閉症者との「相互描画法によるセッション」三田こぶしの園利用者を招き、「相互描画法／並列型、対面型相互描画法、交叉対面型相互描画法」に取り組む2015年「相互描画法」に関する講演  
2015年 2016年 玉島児童発達支援センターにおける幼児へのアプローチ  
2017年 児童発達支援センタークムレ(水島地域)における療育活動指導。  
2017年 デンマークKARAVANA project ワークショップ、講演会、展覧会  
2018年 「交叉する点 溢れる絵具」Overflowing pigments, The intersecting points. MORIYU gallery  
2019年 「アートサポートセンター講座・五十嵐英之の実践より」2019年1月13日 岐阜障がい者芸術文化センター

専門分野  
ガラス工芸



教授 磯谷 晴弘

デザイン芸術学科

[担当科目]  
(学部)くらしと芸術、プロジェクトマネジメント論、総合プロジェクト演習Ⅰ、総合プロジェクト演習Ⅱ、総合プロジェクト実習Ⅰ、総合プロジェクト実習Ⅱ、総合プロジェクト実習Ⅲ、工芸基礎、美術工芸実習Ⅰ、美術工芸実習Ⅱ、美術工芸演習Ⅰ、美術工芸演習Ⅳ、卒業研究  
(大学院)  
工芸制作研究Ⅰ、工芸制作研究Ⅱ、工芸制作表現研究、領域横断特別研究  
(大学院(通信制))  
修了作品制作研究

Isogai Akihiro

プロフィール

1955年 山形県生まれ  
1980年～1983年 南オーストラリア州立工芸研究所にてガラス工芸を学ぶ  
1989年～1995年 (財)金沢卯辰山工芸工房ガラス専門員  
1995年 倉敷芸術科学大学 芸術学部 教授

主な活動

1987年、90年、93年、96年、99年、02年、05年、08年、11年、15年 18年 日本のガラス展、東京  
1988年 日本のガラスアート展、サンパウロ美術館、ブラジル  
1990年 現代ガラスの造形展、招待出品、箱根彫刻の森美術館、神奈川  
1990年 以後毎年 日本クラフト展、東京  
1991年 能登島野外ガラス彫刻展、能登島ガラス美術館、石川  
1993年 日本の新しいガラス展、デュッセルドルフ美術館、ドイツ  
1994年 世界現代ガラス展、北海道立近代美術館、北海道  
1999年 日本のガラス2000年展、サントリー美術館 東京  
1999年 ガラス工芸 歴史と現在 岡山オリエント美術館 岡山  
2002年 日本のクラフト展 ベルギー ブリュッセル  
2003年 日本の現代ガラス展 ハンガリー ブダペスト  
2005年 アートの今・岡山 岡山県天神山文化プラザ  
2010年 The International Fine Art & Antiques Show New York USA  
2011年 素材をめぐる14人の方法 岡山県天神山文化プラザ 岡山  
2013年 Masterpiece London UK  
2014年 FOG Design + Art San Francisco USA  
2015年 The International Fine Art & Antiques Show New York USA  
2016年 Asia Week New York USA  
2016年 Design Miami / Barseel Switzerland  
現在 日本クラフトデザイン協会理事長 日本ガラス工芸協会会員

今年度の研究内容

ガラスの塊(量塊)で作品を制作している。大きさと重量が作品の存在感にどれだけの影響を与えるか見ようとしている。また、現代社会における、芸術作品が持ちうる力の可能性を考えている。特に海外での発表が多くなりそうなので、いま自分の持っている力がどれだけ通用するか試している。

専門分野  
陶 芸

芸術学部



Inoue Masataka

講師 井上 昌崇

デザイン芸術学科

[担当科目]

工芸基礎、美術工芸演習Ⅳ、美術工芸実習Ⅰ、美術工芸実習Ⅱ、卒業研究

#### プロフィール

1976年 愛媛県生まれ

2000年 倉敷芸術科学大学 大学院 修士課程 修了

#### 研究テーマ

鈎窯、志野焼の研究

#### 今年度の研究内容

鈎窯釉薬と流動形状の適合性について

#### 主な活動

2002年 なかとも美術館fuji国際ビエンナーレ 入選

2006年 第61回新匠工芸会展 入選

2007年 第13回新美工芸会展 入選

2007年 第62回新匠工芸会展 入選

2008年 第25回茶の湯造形展 入選

2012年 第5回現代茶陶展 入選

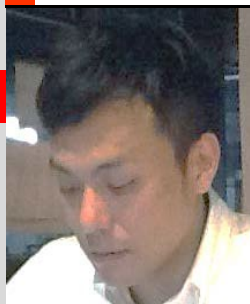
2014年 第20回庄六賞茶盃展 入選

2016年 第22回美濃茶盃展 入選

2017年 第11回現代茶陶展 入選

2017年 第23回美濃茶盃展 入選

専門分野  
現代アート



Kwakami Koumosuke

講師 川上 幸之介

デザイン芸術学科

[担当科目]

現代表現制作研究 I-IV、現代表現制作研究 I、西洋画制作研究 I,II、絵画基礎 I、I美術工芸実習 I,II、美術工芸演習 I,II、卒業研究

プロフィール

1979年 山梨県生まれ

2003年 Central Saint Martins College of Arts and Design, BA Fine Art 卒業

2004年 Central Saint Martins College of Arts and Design, MA Fine Art 卒業

2013年 倉敷芸術科学大学 芸術学部 就任

主な活動

<個展>

2006年 'Mindustrial Evolution', Bearspace Gallery, ロンドン

2007年 'Migration', Pippy Houldsworth Gallery, ロンドン

2011年 '(H)allo-Poiesis', Daiwa Foundation, ロンドン

2012年 'Beauty of Ruin', Identity Gallery, 香港

2013年 'OPEN 16', International Exhibition of Sculptures and Installations, イタリア 他

<グループ展>

2013年 'Double Massage', スカイザバスハウス, 東京

2014年 'Tag 展', 松本市立美術館, 長野

'Japon', Abbaye Saint Andre Centre d'art Contemporain, Meymac, フランス 'Dualities 3', Identity gallery, 香港

2016年 'Dada-inspired performance and re-enactment of "Sanka in Theater" Institut franco-japonais de Tokyo, Super Delux Tokyo. 東京

2017年 'The Task of the Transla'tor', Goethe Institut, 東京 'Screening in Late Spring'. Blanclass, 横浜

'前橋映像祭', 群馬

2019年 Visions in the Nunnery P3 Bedwyr Williams, ロンドン

今年度の研究内容

作品の制作と発表を行う。

コレクション(作品所蔵先一覧)

UBS Bank, ニューヨーク、UBS Bank, ロサンゼルス、UBS Bank, ロンドン、田口コレクション, 東京、

Progressive Art Collection, アメリカ、West Collection, アメリカ、Wellington Management, ロンドン、第一生命, 東京

Elspeth and Imogen Turner Collection, ロンドン、Pigozzi Collection, アメリカ

主な学会等での発表、講演

2012年 京都精華大学 講演「現代アート」

2013年 名古屋芸術大学 講演「現代アート」

2013年 京都嵯峨美術大学「アーティスト対策」

2013年 多摩美術大学 講演「作家活動について」

2013年 東京芸術大学 講演「現代アート This is now」

2014年 ベネッセアートミュージアム「What is contemporary art?」

2015年 上野の森美術館 講演「英国の美術教育」「現代アート」

2019年 女子美術大学 講演「作家活動について」

2019年 東京大学 講演「EEE プロジェクト」

専門分野

イラストレーション／グラフィックデザイン

芸術学部



Wolton Chris

准教授 クリス ウォルトン

デザイン芸術学科

[担当科目]

デザイン実習Ⅰ、デザイン概論、デザイン実習Ⅱ、プロジェクト演習Ⅱ、デザイン基礎Ⅰ、デザイン演習Ⅰ、コンピュータ演習Ⅱ、卒業研究、くらしと芸術、芸術と科学の協調、(院)デザイン計画研究Ⅰ、(院)デザイン計画研究Ⅱ、(院)デザイン表現論、(院)デザイン計画論

### プロフィール

1985年 University of Florida College of Fine Arts 卒業  
1985年 Grant Center Hospital 子ども病院(院内学校)美術講師  
1986年 Florida Department of Agriculture、イラストレーター／グラフィックデザイナー  
1989年 インド、東南アジア、日本での民芸・フォークアート調査研究  
1990年 岡山学院大学 英語学科  
1996年 倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部  
2008年 倉敷芸術科学大学 芸術学部

### 研究活動

2000年～現在 フリーランスでイラストレーション、グラフィックデザイン、Webデザイン  
2000年～2003年 発達障害のこどもため美術講師(岡山、倉敷)  
2005年～2006年 千里国際学園の共同研究(大阪)  
テーマ:Interactive Visual Support in Language Acquisition for Young Learners  
2011年 芸術学部＋産業科学技術学部共同研究、グループ展 加計美術館(倉敷)  
テーマ:Prototypes for Teaching Materials Based on the Golden Ratio  
2013年 芸術学部＋産業科学技術学部共同研究  
テーマ:Visual guide to illnesses affecting house animals

### 産官学連携プロジェクトの実施

2013年 倉敷イメージイラストの開発  
倉敷市・記念日をすごすまち倉敷推進協議会  
2014～2015年 倉敷記念日レタープロジェクト  
倉敷市・NPO法人倉敷観光局、記念日をすごすまち倉敷推進協議会  
2016～2017年 学生素隠居のイメージの開発  
倉敷市・素隠居保存会  
2018年 倉敷屏風プロジェクト(展示広告の企画／制作)

専門分野

グラフィックデザイン／パッケージデザイン／ブランディング

芸術学部



Goto Hidenori

教授 後藤 秀典

デザイン芸術学科

[担当科目]

デザイン理論、デザイン概論、くらしと芸術、デザイン演習・実習、プロジェクト演習、総合プロジェクト演習・実習、卒業研究

#### プロフィール

1959年 東京生まれ  
1982年 東京藝術大学 美術学部 デザイン科 卒業  
1982年 株式会社GKインダストリアルデザイン研究所 入社  
CL:ヤマハ発動機(自動二輪)カラー&グラフィック担当  
1988年 株式会社クリークサイドファーム 入社  
CL:住友銀行、三井銀行などのグラフィック・広告制作担当  
1991年 デザインプラナリア設立  
グラフィックデザイン、パッケージデザイン、広告デザインを中心に活動  
CL:雪印乳業、瑞泉酒造、johnson & Johnson、ナビスコ他  
2014年 倉敷芸術科学大学 芸術学部 デザイン芸術学科 教授 就任

#### 今年度の研究内容

- 1) 鮮度の高い情報を取り入れながら、ビジュアルデザインの新たなムーブメントを発信できるよう、創作と研究を行う。
- 2) 地域との連携プロジェクトに数多く参加し、地域文化の発展とブランドイメージ向上に貢献する。

#### 受賞作品

1984年 グッドデザイン賞 ヤマハモーターサイクル  
1995年 グッドデザイン賞 三菱レイヨン浄水器  
2001年 年鑑日本のパッケージデザイン選出  
2003年 年鑑日本のパッケージデザイン選出 雪印乳業 他

専門分野  
絵 画



Kondou Chiaki

教授 近藤 千晶

デザイン芸術学科

[担当科目]

絵画基礎Ⅰ、美術工芸演習Ⅱ、美術工芸実習Ⅰ・Ⅱ、総合プロジェクト実習、卒業研究、西洋画制作研究 他

プロフィール

1958年 岡山県生まれ  
1981年 高知大学教育学部特設美術工芸課程卒業  
1995年 倉敷芸術科学大学 芸術学部 就任

研究テーマ

二次元平面に空間や時間をどのように表現することができるのか、独自の絵画空間を追求する。

今年度の研究内容

薄い皮膜のようなレイヤーを重ね、風景を連想する新たなイメージを画面に立ち上げる。

略 歴

1989～2001年 独立展 東京都立美術館他(毎年)  
1997年 個展 スルガ台画廊(東京)  
1997,1998年 第28・29現代日本美術展 東京都立美術館、京都市立美術館  
1998,2004,2011年 個展 ギャラリーK(岡山)  
2000年 Asian Art Now2000 Las Vegasu Arts Museum  
2001,2007年 個展 村松画廊(東京)  
2003,2004,2006,2009,2010年 個展 海岸通ギャラリーCASO(大坂)  
2005年 個展 位置や時間や光について 奈義町現代美術館(岡山)  
2008年 2人展 不安定な絵画のための 倉敷市立美術館  
2009年 アーティスト アンド ハウス サトウリツコ×近藤千晶 アーティスト・ハウス(岡山)  
2012年 個展 光の手触り MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w(京都)  
2014年 個展 背後の光 The light from behind Art Garden(岡山)  
2015年 個展 始まりも終わりもない絵画へ MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w(京都)  
2015年 2人展 近藤千晶(絵画)+古林花織(磁器) ぎやらりいしをり(岡山)  
2016年 個展 暗闇の手探り MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w(京都)  
2017年 個展 光を浴びる MATSUOMEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w(京都)  
2018年 個展 Water Gate MATSUOMEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w(京都)  
2019年 2人展 近藤千晶(絵画)×迫田岳臣(ガラス) ぎやらりいしをり(岡山)

専門分野

塑造彫刻・描画活動全般の基礎教育

芸術学部



Tamaru Minoru

教授 田丸 稔

デザイン芸術学科(メディア映像学科兼任)

[担当科目]

造形基礎演習Ⅰ、造形基礎演習Ⅱ、造形基礎演習Ⅲ、メディア映像論、彫刻基礎、美術工芸演習Ⅲ、美術工芸実習Ⅰ、美術工芸実習Ⅱ、総合プロジェクト演習Ⅱ、総合プロジェクト実習Ⅱ、美術科教育法Ⅲ、美術科教育法Ⅳ、卒業研究、彫刻制作研究Ⅰ、彫刻制作研究Ⅱ、修了作品制作研究、領域横断特別研究

### プロフィール

岡山県倉敷市在住

1968年 島根県松江市生まれ

1993年 岡山大学大学院教育学研究科美術教育専攻修了

倉敷芸術科学大芸術学部教授／岡山県美術家協会会員／岡山県美術展審査委員／公益社団法人日本彫刻会会員／公益社団法人日展会員

### 研究テーマ

身体感覚に基づく人体イメージの形象化、及び彫刻制作研究、描画活動の基礎指導の研究

### 今年度の研究内容

#### ■作品出品

第49回日彫展作品出品、改組新第5回日展作品出品、第70回岡山県美術展作品出品および審査員、岡山県美術家協会展作品出品

#### ■教育研究活動

ゼミ指導および担当科目における専門教育

### 受賞および主な展覧会活動等

1998年 第33回昭和会展:日動画廊本店(優秀賞受賞)

2003年 第17回文化庁現代美術選抜展

2005年 日韓現代美術特別展:福岡アジア美術館(福岡・ソウル)

2006年 第38回日展(特選受賞:2回目)

2006年 第8回岡山芸術文化賞:準グランプリ受賞

2007年 第4回マルセンスポーツ文化賞:マルセン文化賞受賞

2010年 第12回倉敷新鋭作家選抜美術展:倉敷市立美術館

2011年 JR岡山駅西口木かげ広場モニュメント「吉備の冠者」

2012年 第62回佐賀県美術展覧会:審査員

2012年 「天プラ50周年記念展」岡山県天神山文化プラザ

2013年 「BODYアートの今・岡山2013 身体の記憶」岡山県天神山文化プラザ

2014年 公募団体ベストセレクション美術 2014:東京都美術館

2014年 改組新第1回日展:審査員

2015年 都美セレクション新鋭美術家 2015:東京都美術館

2015年 第66回岡山県美術展:審査員

2017年 第47回日彫展:審査員

2017年 天プラセレクション田丸稔展「叙事詩の男、こがねいろの月」岡山県天神山文化プラザ



専門分野

## ガラス工芸／キルンワーク

芸術学部



Jang Kyung Nam

准教授 張 慶南

デザイン芸術学科

[担当科目]

くらしと芸術、工芸基礎、美術工芸演習Ⅰ、美術工芸演習Ⅳ、美術工芸演習Ⅵ、美術工芸実習Ⅰ、美術工芸実習Ⅱ、プロジェクトマネジメント論、総合プロジェクト実習Ⅲ、卒業研究、工芸制作研究Ⅰ、Ⅱ

### プロフィール

1992年 弘益大学校 美術大学 金属工芸科卒業  
1998年 富山ガラス造形研究所造形科/研究科修了  
2003年 倉敷芸術科学大学 大学院修了  
2004年 倉敷芸術科学大学着任～現在

### 主な活動

<個展>

2000年 富山、Day I Can ギャラリー  
2002年 倉敷、工房 IKUKO ギャラリー  
2003年 岡山、エスプリ・ヌーボー ギャラリー  
2007年 富山、ギャラリーNOW  
2005年・2012年 倉敷、ギャラリーK  
2006年 和気町 ギャラリー榎  
2007年 富山、ギャラリーNOW  
2008年 韓国、ギャラリーsklo  
2011年 天満屋倉敷店、美術画廊  
2013年 岡山、ギャラリーやぶき  
2017年 韓国、ギャラリーsklo  
2019年 大阪、LADSギャラリー

<グループ展>

2008年 2008Hsinchu City Int'l Glass Art Festival(招待作家展)  
2001年 ガラスの魅力展(姫路市立美術館)  
2002年 第1回金津制作の森北陸のガラス展  
2005年 GAS2005(Glass Art Society) Demonstrator として発表(オーストラリア)  
2005年／2009年 清州国際工芸ビエンナーレ国際招待作家展(韓国、清州市)  
2008年 2008Hsinchu City Int'l Glass Art Festival(招待作家展) 2010年 岡山県立美術館、岡山美の画廊展  
2012年／2015年 第12回、第13回、2012日本のガラス展  
2013年 韓国ソウル、2013CRAFT TREND FAIR SEOUL 招待作家展  
2015年 2015ROK・JAPAN GLASS ART EXCHANGE EXHIBITION (ISLAND 博物館)  
2016年 日韓芸術展(7人展)、京都市国際交流会館  
2017年 GLASS今日展(挑戦するガラス)(東京MITSUKOSHI本店)  
2018年 第3回岡山のガラス展(岡山)  
2018年 第14回2018日本のガラス展(代官山 ヒルサイドフォーラム、ヒルサイドテラスA棟ギャラリー)(東京)  
2019年 2人展(岡山、岡ギャラリー)

<受賞>

1999年 第1回清州国際工芸ビエンナーレ(金賞)  
2000年 現代ガラス美展 IN 薩摩 2000(大賞)  
2002年 2002 日本現代ガラス展・能登島(大賞)  
2002年 第1回現代ガラス大賞展・富山2002(奨励賞)  
2003年 現代ガラス美展IN薩摩2003(審査員特別賞)  
2004年 第17回富嶽ビエンナーレ展(佳作)  
2005年 第2回現代ガラス大賞展・富山2005(大賞)  
2006年 第18回富嶽ビエンナーレ展(佳作)  
2007年 第10回大分アジア彫刻展(入選)  
2009年 第8回大分アジア彫刻展(入選)  
2009年 第27回朝日現代クラフト公募展(グランプリ)  
2018年 第5回現代ガラス大賞展・富山2018(入選)

専門分野  
ファッション学



Masamune Sachiko

特任准教授 正宗 幸子

デザイン芸術学科

[担当科目]

くらしと芸術、デザイン概論、デザイン理論、ファッション文化史、デザイン演習Ⅱ、デザイン実習ⅠⅡ、卒業研究、総合プロジェクト演習・実習

プロフィール

1978年 京都女子大学短期大学部被服科卒業

1980年 大阪モード学園卒業

1980年 株式会社カイトックファミリー入社

2000年 専門学校岡山ビジネスカレッジ 現ファッション科へ移籍

2017年 with FASHION co.を起業

研究テーマ

ファッションビジネスの変換

自分を活かすファッション理論

今年度の研究内容

ファッションビジネスの変換(SDGs)

主な著書・論文・業績

(株)カイトックファミリー： ナショナルブランドや提携海外ブランド、新規ブランドプロデュース、大手量販店のプライベートブランド・通販などデザイナー どの企画提案(テーマ・コンセプト・ターゲット・テキスタイル・デザイン・店舗ディスプレイなど)

専門学校岡山ビジネスカレッジ：講師 現ファッション学科(ファッションクリエイターコース・ファッションデザインコース)の新設に携わり、カリキュラムや施設を提案。岡山県内のテキスタイルやアパレルメーカーとの産学協業を実施。卒業展をスタート。専門の資格取得への対策担当。毎年就職率100%を実現。

with FASHION co. ファッションやカラーに関する講座を開講。企業研修・コンサルティング・お洒落になる講座・資格検定対策講座など  
ファッションコンサルタント

研究活動

地域のファッション企業との産学協業

学外活動

一般社団法人カラーコーディネーター協会会員 パートナー

一般社団法人骨格スタイル協会会員

一般社団法人スカーフコーディネーター協会会員

一般社団法人顔タイプ協会会員

専門分野  
美術史／博物館学



Matsuoka Tomoko

教授 松岡 智子

デザイン芸術学科

[担当科目]

西洋美術史、日本近代美術史、博物館概論、博物館資料論、博物館展示論、博物館資料保存論、博物館実習、日本美術史特論(大学院)、日本美術特論演習(大学院)

プロフィール

東京生まれ

1983年東京大学文学部美術史学科卒業

1983-1986年(財)東京富士美術館学芸員

1986-1990年パリのルーヴル学院に留学し、博物館学を学ぶ

1991-1993年東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻修士課程修了

1993-1998年東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻博士課程修了

2004年東京大学より博士号(文学)取得

1995年より倉敷芸術科学大学 芸術学部 講師

2007年より教授に就任し現在に至る

研究テーマ

・わが国最初の本格的な西洋美術による美術館で知られる大原美術館の基礎的コレクションの収集を行った児島虎次郎について、画家、美術品収集者、文化交流者の視点から日本近代美術史及び博物館史における位置づけを行う。  
・フランスのミッテラン大統領時代までの政策とは一線を画している、ジャック・シラク政権下の「多文化共存」重視の美術館構想について、ポストコロニアリズム、アイデンティティ、ミグレーション、ナショナリズムの側面からの考察を試みる。  
・第二次世界大戦中のフランスのユダヤ人問題をテーマとする歴史家セルジュ・クラルスフェルト氏の足跡を通して見た、フランス現代史研究。

今年度の研究内容

松岡智子「児島虎次郎の人と作品」(共編著『児島虎次郎と高梁市成羽美術館』日本文教出版、刊行予定)、セルジュ・ベアテ・クラルスフェルト著・松岡智子監訳『回想録』(ミネルヴァ書房、刊行予定)、松岡智子「科学研究費助成事業(科学研究費補助金)研究成果報告書(基盤研究C)」(研究課題:「シラク政権下の美術館構想—ルーヴルからホロコースト記念館まで」)提出予定

主な著書・論文

<著書>

松岡智子『児島虎次郎研究』中央公論美術出版(2004年)、太田泰人、水沢勉、渡辺真里、松岡智子編著『美術館は生まれ変わる—21世紀の現代美術館』鹿島出版会(2008年)

<訳書>

高階秀爾監修、ダニエル・ジロディ著、松岡智子訳『美術館とは何か』鹿島出版会(1993年)、ミミ・ザイガー著、松岡智子訳『ニュー・ミュージアム—現代美術・博物館建築の旅』鹿島出版会(2009年)、松岡智子監訳『ジャック・シラク』明石書店(2017年)

<主要論文>(過去5年間)

松岡智子「ユダヤ芸術歴史博物館とパリ・マレ地区」(『倉敷芸術科学大学紀要』第18号)2013年、松岡智子「『越境』する美術館—ポンピドー・センター・メッスとルーヴル・ランス」(『倉敷芸術科学大学紀要』第19号)2014年、松岡智子「記憶の場所—ショア記念館(パリ)を中心として」(『倉敷芸術科学大学紀要』第20号)2015年、松岡智子「近代美術と博物館」(研究発表<要約>)(『近代画説』第24号)2015年、松岡智子「科学研究費助成事業(科学研究費補助金)研究成果報告書」(基盤研究C)(研究課題:シラク政権下の美術館構想—文化学の視点から)2016年、松岡智子「セルジュ・クラルスフェルト作『フランスのショア』をめぐる」(『倉敷芸術科学大学紀要』第23号)2018年(入稿中)

研究活動

・2004年度 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 刊行物名称:『児島虎次郎研究』、・2005年度 山陽放送学術文化財団による助成 研究題目:「児島虎次郎と日仏及び日伯美術交流に関する研究」、・2009-2011年度 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究課題:「シラク政権下における美術館構想—ケ・ブランリー、ルーヴルを事例に」、・2013-2015年度 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究課題:「シラク政権下の美術館構想—文化学の視点から」、・2016-2018年度 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究課題:「シラク政権下の美術館構想—ルーヴルからホロコースト記念館まで」

学外活動

科学研究費委員会専門委員、倉敷市環境審議会委員、倉敷市景観審議会委員、倉敷市都市計画審議会委員、ライフパーク倉敷協議員、倉敷市建築文化賞選考委員、水島港臨港道路整備事業で整備する新しい「橋」の橋名検討委員

専門分野

日本画／日本画技法・材料

芸術学部



Moriyama Tomoki

教授 森山 知己

デザイン芸術学科

[担当科目]

絵画基礎II 美術工芸演習I 美術工芸実習I、II 卒業研究 総合プロジェクト演習I、II 総合プロジェクト実習I、II、III 日本画制作研究I、II 絵画制作表現研究 領域横断特別研究

### プロフィール

1958年 岡山県倉敷市生まれ  
1981年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業  
1983年 東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程修了  
2017年 倉敷芸術科学大学 芸術学部 教授 就任

### 主な活動

1985年 東京セントラル美術館で初個展開催、以後個展・グループ展多数  
1991年 第3回 CGA コンテストグランプリ受賞('93 第5回,'95 第7回同賞受賞)  
1995年 美術作家による阪神大震災復興支援「100人展」  
2002年 『自然を見つめる作家たち』<現代日本の自然表現と伝統> 徳島県立近代美術館  
2007年 『日本画-和紙の魅力を探る』徳島県立近代美術館倉敷不洗観音寺客殿襖絵制作  
『クロスロード共鳴する美術』倉敷市立美術館  
2011年 「今日の美術展」東日本大震災復興チャリティーオークション  
2012年 『国宝 紅白梅図屏風とMOA美術館の名品』平成23年度文化庁ミュージアム活性化支援事業特別公開・東日本大震災復興支援 仙台市博物館『描法再現・紅白梅図屏風』出品  
『3.11 きずな展』美術作家による震災遺児支援 チャリティーオークション第5回東山魁夷記念『日経日本画大賞展』  
2015年 岡山空港ステンドグラス『昔話 桃太郎』原画制作・監修  
2016年 奈義町現代美術館個展  
岡山県立美術館コレクション活用 BOX・日本画 制作・監修  
2017年 『日本画山脈』展 新見美術館他巡回  
『吾輩の猫』展 佐藤美術館

### 今年度の研究内容

能舞台「鏡の松」「若竹」制作(2020年完成予定)  
天井画(杉板を支持体とした)を用いた屏風作品の制作 屏風祭参加  
岡山県文化振興事業「芸術温度」参加作品制作

### 主な著書・論文

2002年、2003年岡山地方版年賀状、2002年<ふるさと切手>「中国地方の自然～桜」原画制作  
2006年「吉備悠久」出版(山陽新聞社)紀田順一郎と共著。  
2011年「小野竹喬 日本画の技法と素材」(笠岡市立竹喬美術館友の会)監修  
2017年「畫の本<技之巻>」出版

### 主な学会等での発表

講演・ワークショップ講師等多数

専門分野

プロダクトデザイン/UX デザイン/ユニバーサルデザイン

芸術学部



Yanagida Koji

教授 柳田 宏治

デザイン芸術学科

[担当科目]

デザイン概論(プロダクトデザイン)/デザイン理論(プロダクトデザイン)/デザイン演習・実習(プロダクトデザイン)/ユニバーサルデザイン論/卒業研究

### プロフィール

1982年 京都工芸繊維大学 工芸学部 意匠工芸学科 卒業

1982年～2004年 三洋電機株式会社にて、主にビデオカメラなどの映像・音響機器のプロダクトデザイン、および携帯電話などのユーザーインターフェースデザインを行う。

1994年～1996年 Sanyo North America(米国)にて、ユニバーサルデザインの調査・研究を行う。

2004年～現在 倉敷芸術科学大学 教授

### 研究テーマ

- ・プロダクトデザイン/UX デザイン/ユニバーサルデザイン/デザイン思考等の手法研究
- ・ユニバーサルデザインの公園づくりの研究

### 今年度の研究内容

- ・ユニバーサルデザインの公園づくりの研究

### 主な活動

日本人間工学会アーゴデザイン部会 幹事

NPO法人人間中心設計推進機構 評議員

NPO法人まちづくり推進機構岡山 理事

NPO法人倉敷観光局 理事

みーんなの公園プロジェクト 代表

### 主な著書・論文

<著書>

「ユニバーサルデザイン実践ガイドライン」 日本人間工学会編、共立出版 (2003)

「エクスペリエンス・ビジョン: ユーザーを見つめてうれしい体験を企画するビジョン提案型デザイン手法」 山崎和彦・上田義弘・郷健太郎・高橋克実・早川誠二・柳田宏治、丸善出版 (2012)

「すべての子どもに遊びを: ユニバーサルデザインによる公園の遊び場づくりガイド」 みーんなの公園プロジェクト編著、柳田宏治・林卓志・矢藤洋子、萌文社 (2017)

<論文>

「ユビキタス時代のユニバーサルデザイン」 柳田宏治・山崎和彦、計測自動制御学会、計測と制御、第 47 巻第 2 号 pp.101-106 (2008)

「HCDと構造化シナリオ手法—概要と活用事例」 柳田宏治・上田義弘・郷健太郎・高橋克実・早川誠二・山崎和彦、デザイン学研究特集号 Vol18-2 No.70 pp.16-19 (2011)

「サービスデザインへのビジョン提案型デザイン手法の応用—産官学連携『倉敷おみやげプロジェクト 2012』—」柳田宏治、倉敷芸術科学大学、倉敷芸術科学大学紀要第 19 号 pp. 41-50 (2014)

「学生の地域連携プロジェクトと効果 —「倉敷素隠居プロジェクト」の事例から—」、柳田宏治・五十嵐英之・井上昌崇・ウォルトン クリス・近藤千晶・森山知己、倉敷芸術科学大学、倉敷芸術科学大学紀要第 24号 (2019)

"Play for All Children: A Guide for Universally Designed Playgrounds", Koji Yanagida, Yoko Yato, Takushi Hayashi, International Association for Universal Design, Proceedings of the 7th International Conference for Universal Design in Bangkok (2019)

### 主な学会等での発表

“Vision-proposal Design Method”, Koji Yanagida, Yoshihiro Ueda, Kentaro Go, Katsumi Takahashi, Seiji Hayakawa, Kazuhiko Yamazaki, Human Centered Design, HCI2011 (2011)

“Method Format for Experience Vision” Koji Yanagida, Yoshihiro Ueda, Kentaro Go, Katsumi Takahashi, Seiji Hayakawa, Kazuhiko Yamazaki, Human-Computer Interaction: Human-Centered Design Approaches, Methods, Tools, and Environments, HCI2013 (2013)

"Play for All Children: A Guide for Universally Designed Playgrounds", Koji Yanagida, Yoko Yato, Takushi Hayashi, International Association for Universal Design, The 7th International Conference for Universal Design in Bangkok (2019)

専門分野  
イラストレーション



Yoshida Maki

特任准教授 吉田 磨希

デザイン芸術学科

[担当科目]  
デザイン理論Ⅰ、デザイン概論、デザイン演習Ⅵ、デザイン実習Ⅱ、デザイン実習Ⅰ、デザイン実習Ⅱ、卒業研究

プロフィール

大阪府在住、夙川学院短期大学美術学科ビジュアルデザインコース専攻科卒業後、フリーのイラストレーターとして活動中  
1994年～2005年 ギャラリー 14thmoon、T.K. ART、ベーターズギャラリー、LIMギャラリー  
2007年 ギャラリー雑貨 オソブランコにて「the Quiet sand」展  
2008年 ギャラリー CENTENNIALにて「Entracte」個展  
2009年 HBギャラリーにて「サーカスの午後」個展  
2010年 西宮の明日をになう作家展  
2010年 ギャラリー CENTENNIALにて「Nocturnal」個展  
2011年 北海道ホテルにて「Ce u e balco」個展  
2012年 大阪高島屋 6階フロアにて個展「吉田磨希展」個展  
2012年 ギャラリーCENTENNIALにて「旅のまにまに」個展  
2014年 ギャラリーCENTENNIALにて「ながい冬のおわりに」個展  
2014年 台湾、日本「日常的非常日常」展 台湾台中市の臻品藝術ギャラリーにて  
2015年 「砂糖時光」展 台湾台中市 實心美ギャラリーにて  
2016年 ギャラリー CENTENNIALにて「LOOP」個展  
2018年 「砂糖時光」展 台湾台中市 實心美ギャラリーにて

今年度の研究内容

作品の制作と発表

専門分野

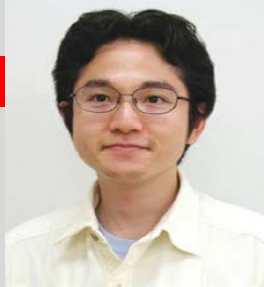
イラストレーション

Works 大阪市カレンダー / フェリシモトリビュート 21 絵皿制作 / リクルート「FROM A」表紙イラスト・中吊り・うちわ制作 / ターナー水彩アクリルガッシュ広告イラスト / 大阪ガス情報誌『RENEW』表紙イラスト 1999～2002 / 劇団パロディフライ 公演チラシ、ポスターイラスト1993～2019 / 株式会社クボタ2004 年度カレンダー「MY FLYING DREAM」/ 2005年度カレンダー「SESSION of IMAGINATION」/ ECC ジュニア英語教材絵本 2000～2008 / 大阪市いずみホール 音楽情報誌「JUPITER」表紙イラスト/ ファミリーマートの年賀状 2008 / 朝日新聞コラムイラスト / 近畿大学附属病院小児科病棟の扉とエレベーター部分のイラスト / 日本小児腎臓病学会学術集会のポスター/ 地主薫バレエ団の『くるみ割り人形』のパンフレット / 大阪高島屋東館 6階こどもフロア全体の照明と授乳室照明のイラストデザイン / アルクキッズ英語編集部『子どもとあそぼうマザーグース』/ 学研名作よんでよんで『どうぶつのおはなし』『心にくる日本のどうわ』『わらいばなし』/ あかね書房『おばけトリックアート』/ 株式会社ベツダイ ライフレーベルweb ポスターなど / 軽井沢きなりパッケージイラスト / エニオスカレンダー2018年3-4月

専門分野

ゲーム・3DCG・デジタルものづくり

芸術学部



Ohya Tsutomu

特准准教授 大屋 努

メディア映像学科

[担当科目]

ゲーム演習、メディア・アート論、ゲーム・Webデザイン実習Ⅳ、3DCGI、3DCGⅡ、ゲーム・Webデザイン実習Ⅲ、プロジェクト演習、総合プロジェクト演習、総合プロジェクト実習Ⅰ、総合プロジェクト実習Ⅱ、芸術と科学の協調、メディア映像論、地域貢献実践、卒業研究

### プロフィール

1978年 岐阜県生まれ

2002年 国立 九州芸術工科大学大学院 博士前期課程 芸術工学研究科 生活環境専攻 修了

2016年 国立 九州大学大学院 芸術工学府 博士後期課程 デザインストラテジー専攻 単位取得満期退学

3DCG制作、ゲーム開発、電子工作キット商品開発の業務経験を経て2009年より現職。

大学院では「ふわふわお絵描き」など電子デバイスを用いた制作研究を行い、修士研究として制作・公開した多人数ネットワーク対戦アクションゲーム「宝永噴煙祿」ではネットワークコミュニティの形成に至った。また、在学中にはテレビCMやイベント映像など、多数の3DCG映像制作を行った。修了後はゲームソフト開発メーカーに勤務し3Dグラフィック制作に携わり、その後、電子工作キットメーカーでは「はこシリーズ」を立ち上げるなど、芸術・教育と電子技術を組み合わせた商品開発を多数担当した。

### 今年度の研究内容

地域連携拠点「まちなか研究室まび デジタル工房」の運営等を通じ、真備の老健施設内にあることを活かした密な連携を行う。

デジタルものづくりを駆使し、学生参加の地域と連携した様々な実践的プロジェクトを展開し、研究教育や地域貢献を進め、復興と活性化に参画していく。

### 研究テーマ

研究テーマは「デジタルコンテンツや電子デバイス、デジタルファブリケーションを用いたインタラクティブ表現の研究制作」で、ゲーム技術や3DCG、センサー等の電子デバイス、3Dプリンター等のデジタルものづくり、さらにAR・VR等、様々な「テクノロジー」を「デザイン」の視点で組み合わせ応用し、より体感・直感的で使いやすく楽しくすることを目指している。

「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」倉敷アートサポートプロジェクトにて地域プラットフォーム形成研究を担当し2015年1月に倉敷市玉島に地域連携拠点「まちなか研究室玉島 デジタル工房」を設置した。「デジタルものづくり」で地域活性化や課題解決、地域との関係構築、学生等の能力向上、情報発信を目指し地域コミュニティと協同して様々な取り組みを継続的に行ってきた。2018年4月より真備の老健施設内に移転し「まちなか研究室まび デジタル工房」として、施設や地域と協同して研究教育と地域貢献を展開し復興への参画を目指している。

所属学会:「Asia Digital Art and Design 学会」正会員

岡山県内を中心に各地の「FabLab」等の Fab 施設と交流や連携を行っている。

電子デバイスやプログラミング、3DCG等の表現技術を活かし、コラボレーションで制作研究を実践している。

### 受賞作品

「宝永噴煙祿」:インターネット協会 2001年オンラインソフトウェア大賞 入賞

「ふわふわお絵描き」:CG-ARTS 協会 2001年・第7回学生 CG コンテスト インタラクティブ部門 最優秀賞

「はこシリーズ」:2007年 福岡産業デザイン賞 奨励賞

「ゲームキョウカイ」(英語名:Game Border):Prix Ars Electronica 2012 Hybrid Art 部門 Honorary Mentions

専門分野

TVCM／映画 企画・監督



Koide Hajime

教授 小出 肇

メディア映像学科

[担当科目]

「メディア映像論」「映像概論」「映画論」「プロジェクト演習」「総合プロジェクト演習」「卒業研究」「院)映像研究1」「院)映像制作研究2」「院)現代映像論」

## プロフィール

1955年 大阪市東住吉区生まれ

1977年 近畿大学 法学部 経営法学科 卒業映像プロダクション「ハイスピリット」入社

1989年 フリー映像監督に

TVCM「JR 西日本・九州交響旅シリーズ」「小林製薬・熱さまシート シリーズ」

「パナソニック・私の街の電気屋さん」「MIZUNO・北島康介」映画「大阪 BIG RIVER BLUES」出演・坂田利夫・角田 信朗

2004年 倉敷芸術科学大学 芸術学部 就任

## 今年度の研究内容

岡山県の歴史と文化映像をテーマとする。現在「犬養毅首相」のシナリオ作成中

## 主な活動

1999年 日本初 テレビ双方向実験 映像総監督(主催・電通)

2000年 インターネット博覧会 NTT 西日本 映像総監督

● インターンシップ学生 派遣プロデュース

山田洋次監督「小さいうち」(2013)「母と暮せば」(2014)「家族はつらいよ 2」(2016)大林宣彦監督「この空の花 長岡花火物語」(2012)「野のなななのか」(2014)

## 主な学会等での発表

1987年 ACC シーエムフェスティバル グループ CM 部門審査員

1994年 ACC シーエムフェスティバル 入選 JR 西日本「卒業旅行」

1999年 ACC シーエムフェスティバル 入選 ヒガシマル「ちょっと ぞうすい」

2000年 ACC 賞テレビ部門 広島広告企画制作賞 金賞「妖怪たちが泣いている」

2003年 ニューヨークフィルムフェスティバル ファイナル賞「アート引越センター ふるさと編」

2013年 文化映画「住吉に住んだ文化人たち」監督 (製作・大阪市)

## 学外活動

JAC(日本コマーシャル連盟)関西支部 活動参加

JSC(日本撮影監督協会)関西支部 活動参加



専門分野

インタラクションデザイン

芸術学部



Kondo Kenji

教授 近藤 研二

メディア映像学科

[担当科目]

デザイン史、情報デザイン概論、ゲーム・Web デザイン実習 I、II、映像制作研究

#### プロフィール

1952 年 福岡県生まれ

1976 年 九州芸術工科大学(現九州大学)工業設計学科 卒業

1976 年 以降メーカーの製品企画室で製品の企画・デザイン担当

1982 年 以降デザイン教育に携わり、現在に至る。

#### 今年度の研究内容

受託研究「高梁川流域 MAP 制作 天然記念物」研究

#### 研究テーマ・主な活動

教育の一環としての産学協同による Web デザインの事例

COC 事業「倉敷に根差した地域文化プラットフォーム形成のプロセス」研究

受託研究「高梁川流域 MAP 制作」研究

受託研究「倉敷市自然史博物館岡山県産野生植物全種検索システム」の研究

専門分野  
イラストレーション



Doihara Yoshiko

特担任教授 土井原 由子

メディア映像学科

[担当科目]

イラストレーション基礎、2DCG、コミックイラスト演習、コミックイラスト実習Ⅰ、コミックイラスト実習Ⅱ、メディア映像論

## プロフィール

1976年 岡山県生まれ  
 1997年 兵庫大学短期大学部 美術デザイン学科 卒業  
 2007年 学校法人上田学園 大阪総合デザイン専門学校 ビジュアルクリエイター学科 常勤講師 就任  
 2010年 学校法人上田学園 大阪総合デザイン専門学校 コミックアート学科 非常勤講師 就任  
 2011年 倉敷芸術科学大学 芸術学部 メディア映像学科 非常勤講師 就任  
 2012年 倉敷芸術科学大学 芸術学部 特担任教授 就任

## 今年度の研究内容

イラスト作品の新作を描き、本を制作。東京、大阪で開催されるイベントに参加する。

## 主な活動

HIME+YOU(ヒメユウ)という名前でイラストレーターとして活動

## 書籍に寄稿した作品

- ・ぷっちぐみ/小学館
- ・ジュエルペットファン/小学館
- ・月刊MdN/MdN
- ・季刊エス/飛鳥新社
- ・スモールエス/飛鳥新社
- ・少女世界2号/飛鳥新社

その他

FEWMANY(新宿・マルイ POP SPACE)でグッズ商品化&amp;販売全国LOFTで開催の期間限定イベントPOPBOXでグッズ販売 日本から海外の同人イベント、展示会等で作品を発表

専門分野

アニメーション/テクノロジーアート/イラストレーション/アニメーション理論/ポップカルチャー論



Nakagawa Hirokazu

教授 中川 浩一

メディア映像学科

[担当科目]

アニメーション基礎、アニメーション演習、アニメーション実習Ⅰ、アニメーション実習Ⅱ、メディア映像論

## プロフィール

1964年大阪府生まれ

1986年和歌山大学卒業

## 今年度の研究内容

- ・テクノロジーアートとアニメーション表現の融合による新しいインタラクティブアート作品の創出
- ・機械学習を用いた画像認識技術を応用した動画生成のシステム研究/開発
- ・facerigおよびopenposeライブラリを応用したアニメーションモデルの研究/開発
- ・DeepLearning+画像認識技術による淡水魚「カネヒラ」の認識し解説をアニメーション表現を用いて提示するシステムの研究/開発
- ・水族館展示における空間演出を仮想空間上で実現するARシステムの研究/開発
- ・自然言語処理を応用した会話するアニメーションの研究/開発
- ・宮崎駿作品における演出技法の理論的解析

## 研究テーマ・主な活動

- 2018年 岡山県天神山プラザ「鳥柱レリーフ」テクノロジーアート+インタラクティブアートプロジェクトver1
- 2018年 岡山県天神山プラザ「鳥柱レリーフ」テクノロジーアートプロジェクトver0
- 2018年 芸術と科学の協同研究「テクノロジーアートによる楽しめる水族館展示」研究
- 2018年 倉敷芸術科学大学校舎へのプロジェクションマッピング研究
- 2017年「竹久夢二作品のインタラクティブ化の研究」ウエスコ財団助成対象
- 2016年「踊るアニメーション」エアロビクス運動のキャラクターアニメーション化研究
- 2016年「竹久夢二の美人画を絵柄そのままにアニメーション化し、その魅力を再発見する」両備てい園財団助成対象

## 学外活動

- ・2019年5月 岡山県天神山文化プラザプロジェクションマッピング
- ・2018年12月 岡山県天神山文化プラザプロジェクションマッピング
- ・2018年10月 WAKUWAKUアクリウム展示演出/インスタレーション作品提供
- ・2018年10月 倉敷市大学連携講座アニメーションワークショップ
- ・2018年5月 島根県立美術館「エヴァンゲリオン展」記念講演
- ・2018年5月 島根県立美術館「エヴァンゲリオン展」アニメーションワークショップ
- ・2018年3月 日本貿易振興会主催アニメ国際交流イベント・アニメーションワークショップ
- ・2018年1～2月 天満屋岡山店バレンタインフェア「chocola!chocola!chocola!」インタラクティブインスタレーション作品提供
- ・2017年10～11月 倉敷市立美術館「山本二三展」ワークショップ担当
- ・2017年8月 天満屋岡山店「冒険水族館」インタラクティブインスタレーション作品提供

## 専門分野

Web/モバイル・アプリケーション



Baba Tomomitsu

教授 馬場 始三

メディア映像学科

## [担当科目]

プログラミング基礎 I/II、情報システム基礎、プロジェクト演習、総合プロジェクト演習、情報ネットワーク概論、ゲーム・Web デザイン実習 V、メディア映像論、卒業研究

## プロフィール

1965年 香川県生まれ  
 1989年 大阪大学工学部 通信工学科卒業  
 1991年 大阪大学大学院工学研究科 博士前期課程 修了  
 1992年 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学センター 助手  
 1995年 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助手  
 1999年 倉敷芸術科学大学芸術学部美術学科 講師  
 2002年 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程 修了  
 2016年 倉敷芸術科学大学大学院 産業科学技術研究科計算機専攻 / 倉敷芸術科学大学芸術学部メディア映像学科 教授就任  
 2017年 倉敷芸術科学大学大学院 産業科学技術研究科計算機専攻 / 倉敷芸術科学大学芸術学部メディア映像学科 学科長

## 今年度の研究内容

今年度は主に3つの研究テーマを遂行する。

- (1) 健康科学xICTの取り組みとしてイヌの散歩とヒトの健康づくりに着目し、ウェアラブルデバイスを活用したヒトとイヌ双方の健康作りを支援するしくみについて研究する。
- (2) 伝統工芸xICTの取り組みとして、七宝焼きのデザイン画データベースの構築ならびにタブレット専用アプリケーションを開発して七宝焼きの職人のデザインワークに活かす方法について研究する。
- (3) 観光xICTの取り組みとして、倉敷美観地区にあるさまざまな文化財の情報を観光客に対してiBeaconを利用したスマートフォンアプリを開発することでわかりやすく案内する方法について研究する。

## 研究テーマ・主な活動

・ICTを活用した倉敷市の文化財の案内アプリの研究開発  
 ・ICTを活用した倉敷美観地区における外国人観光客のための観光情報プラットフォームに関する研究  
 ・ウェアラブルデバイスを活用したイヌの散歩とヒトの健康づくりに関する研究  
 ・七宝焼き図案のデジタルアーカイブ実践と活用方法の研究  
 インターネット技術分野で博士号を取得。プログラミングや Web、モバイルアプリの技術指導のかたわら、ICT を活用した文化財や観光情報の発信、人の健康づくりといった学際領域研究に従事中。

## 主な作品制作活動

2011年 iOS アプリ「倉敷市の文化財 v1.0」  
<https://itunes.apple.com/jp/app/倉敷市の文化財/id730149456?mt=8>  
 2012年 Web サイト制作「倉魂！高校生コミックイラストコンクール 2012」<http://www.kurakon.org/>  
 2016年 Web アプリケーション「倉敷芸術科学大学 教育研究業績データベース」<https://redb.kusa.ac.jp/>  
 2017年 Web サイト制作「倉敷美観地区 倉敷の文化遺産」<https://bikan.info/>  
 2017年 Web サイト制作「プテクラ+倉魂！コミックイラストコンクール 2017<中学生部門>」<https://puchi.kurakon.org/>  
 2018年 Apple Watch アプリ「ワン歩計」v1.0

## 主な著書・論文

2016年 馬場始三,ビーコンと連動した屋内位置測位に基づくモバイルアプリケーションの開発と教育現場におけるその取り組みについて,紀要第21号 倉敷芸術科学大学, pp.29-36  
 2017年 馬場始三, 倉敷芸術科学大学における教育研究業績データベースの開発,岡山市,第68回電気・情報関連学会中国支部連合大会  
 2019年 馬場始三, 古本佳代,イヌの散歩とヒトの健康づくりの関連性を調査するためのApple Watchを利用したデータ測定手法の実装, 情報処理学会 夏のプログラミング・シンポジウム2018「プログラミングとオートマトン」予稿集. 諏訪市 2018.8.27-29

## 学外活動

情報処理学会会員、日本デザイン学会会員、WIDE プロジェクトメンバー。サイバー関西プロジェクト幹事、岡山県高度情報化推進協議会 幹事、おかやま IoT コンソーシアム幹事(大学代表として)。

専門分野

マンガ・コミックイラスト



Matsuda Hiroyoshi

助教 松田 博義

メディア映像学科

[担当科目]

マンガ基礎、マンガ演習、マンガ実習 1、マンガ実習 2、マンガ実習 3

## プロフィール

1983 年 岡山県吉備郡真備町生まれ

2004 年 「かぼちゃ」というペンネームにてコミックイラストレーター・漫画家として活動開始

2008 年 神戸大学大学院工学研究科修士課程修了

2008 年 地元倉敷市に戻り漫画家・イラストレーターとして活動

## 今年度の研究内容

オリジナル、または原作のある漫画の制作を行う。また小説等への挿絵・キャラクターデザインの提供を行う。昨年の豪雨で被災した真備町の復興を支えるため、復活した真備の個人商店・組織などを取材し漫画として発表する。

## 主な活動

ヤングエース(KADOKAWA)、ComicREX(一迅社)などの月刊漫画誌にて漫画を連載。また HJ NOVELS(Hobby Japan)、GA ノベル(Softbank)等ライトノベルのイラストを担当。他ソーシャルゲームのイラストや、コミックアンソロジーに寄稿。

## 主な著書

&lt;漫画&gt;

「トップをねらえ！」漫画作画担当(GAINAX・KADOKAWA)全 5 巻

「宇宙をかける少女 R」漫画作画担当(サンライズ・一迅社)全 2 巻

「剣道ガール」(芳文社)全 9 話

他コミックアンソロジー、読み切り作品など

&lt;コミックイラスト&gt;

「おいでよ 魔物牧場！」挿絵担当(MFブックス)1巻(2019年5月現在)

「転生賢者は娘と暮らす」挿絵担当(富士見ファンタジア)全3巻

「転生担当女神が100人いたのでチートスキル100個貰えた」挿絵担当(GAノベル)全3巻

「二度目の人生を異世界で」挿絵担当(HJ NOVELS)18 巻(2019年5月現在)

「異世界モンスターブリーダー」挿絵担当(GA ノベル)全 5 巻

「アリアンロッド 2E・リプレイ・ヴァイス」挿絵担当(富士見ドラゴンブック)全 3 巻

「ある魔女の受難」挿絵担当(アルファポリス)全 1 巻

「巻き込まれて異世界転移する奴は、大抵チート」挿絵担当(宝島社)全 4 巻

「スクランブル・ウィザード」挿絵担当(HJ 文庫、第二回 HJ 文庫大賞 大賞受賞作品)全 7 巻

「HJ 文庫大賞募集イラスト」(Hobby Japan)

「倉敷芸術科学大学 芸術学部 メディア映像学科 2016 年度版パンフレット表紙イラスト」他ゲーム、ソーシャルゲーム、ゲストイラストなど

&lt;画像&gt;

漫画「トップをねらえ！」1 巻表紙 2014 年

ノベルイラスト「二度目の人生を異世界で」16 巻表紙 2017 年 11 月 2 日

イラスト「倉敷芸術科学大学芸術学部メディア映像学科 2016 年度版パンフレット表紙」2016 年

専門分野

コマーシャル／放送番組／PV



Maruta Masahiro

教授 丸田 昌宏

メディア映像学科

[担当科目]

映像基礎、映像演習、放送演習、映像・放送実習、映像制作研究

## プロフィール

1996年 岡山県生まれ  
 1991年 中京大学法学部法律学科卒業  
 1991年 山陽映画株式会社入社  
 2000年 山陽映画株式会社企画制作部課長ディレクター  
 2004年 倉敷芸術科学大学映像デザイン学科准教授就任  
 2018年 倉敷芸術科学大学メディア映像学科教授就任

## 今年度の研究内容

倉敷市移住定住推進ビデオの制作

## 研究テーマ・主な活動

テレビコマーシャルや番組のディレクターとして、現在も多くの作品を手がけている。  
 また、プロジェクションマッピングや展示映像など、映像分野での幅広い制作活動を行なっている。  
 2010年 岡山県で開催された国民文化祭告知コマーシャル及びPRビデオ制作  
 2015年 招き猫美術館 招き猫美術館 館内展示映像  
 2016年 倉敷美観地区物語館 春宵あかりイベント倉敷美観地区プロジェクションマッピング  
 2017年 岡山理大付属高等学校 学校PRビデオ他 企業CM多数  
 2018年 岡山県備前焼陶友会 備前焼PRビデオ他 企業CM多数

## 受賞作品

1996年 第10回 競艇広告大賞・テレビCM部門特別賞  
 倉敷市 児島競艇 TVCM「児島競艇・ドリームビジョン」篇 15秒第36回 ACC全日本CMフェスティバル地域CM部門奨励賞 丸亀市競艇事業部 TVCM「まるがめポート・猫」篇 30秒 15秒  
 1999年 第27回 岡山広告協会ラジオ・テレビ広告賞 銅賞  
 岡山県 後樂園300年 TVCM「後樂園300年祭」篇 15秒第27回 岡山広告協会ラジオ・テレビ広告賞 銅賞  
 株式会社アルファ TVCM「私はPOPレディ」篇 15秒  
 2002年 第42回 ACC CM FESTIVAL 銀賞  
 第42回 ACC CM FESTIVAL 審査員特別賞第30回 岡山広告協会ラジオ・テレビ広告賞  
 岡山県真庭郡新庄村 TVCM「健康で元気な村づくり」篇 30秒  
 2012年 岡山県真庭郡新庄村 TVCM「健康で元気な村づくり」篇 が日本のCM500選に選定  
 2013年 総務大臣賞奨励賞  
 玉島商工会議所 地域PR映像 10分  
 2016年 第44回岡山広告協会ラジオ・テレビ広告賞 テレビ部門金賞受賞  
 有限会社延原製作所 TVCM「スクリーンメッシュ」30秒 15秒

専門分野  
言語学・コミュニケーション



Mizuta Naomi

准教授 水田 直美

メディア映像学科

[担当科目]  
言語学、コミュニケーション論、会話分析

プロフィール

1965年 岡山県生まれ  
1996年 広島大学大学院 教育学研究科 日本語教育学専攻 博士課程後期単位取得満期退学  
1996年 倉敷芸術科学大学(現在に至る)

今年度の研究内容

アニメーション化にあたってマンガのオノマトペがどのように表現されるか、特に心理的距離の変化、主人公の成長による変化、主人公の他者への関わりの変化の点から、分析・考察。

研究テーマ・主な活動

- ・マンガがアニメーション化されるときのおノマトペの表現変化について分析・考察。
- ・教養科目「言語学」(言語学概論)を担当。オムニバス科目で、言語表現の変遷・分析および就職対策等を担当。
- ・メディア映像学科専攻科目でコミュニケーション理論と分析方法の教授、およびメディア映像作品の分析を指導。「プロジェクト演習」で、大学の講義科目での学習・課題への取り組み方を指導。